

CQ IVB-1

軽度認知障害 mild cognitive impairment (MCI) の診断はどのようにするか

推奨 MCIは、認知症とも知的に正常とも言えない中間状態を指し、①もの忘れの訴え、②神経心理検査による年齢に比しての記憶障害の確認、③一般的な認知機能が正常、④家事や仕事等の日常生活動作(ADL)が概して正常、⑤認知症ではない、との特徴を示し、診断はこれらを確認することであった。最近の分類は、amnesic MCI か non-amnesic MCI か、さらに single domain か multiple domain かに分ける。今のところ、診断手順は示されているが、定型のMCI診断法が確立されているとは言い難い(グレードなし)。

解説・エビデンス Petersen による当初のMCIは、記憶障害を中心とした概念であった¹⁾。その後、記憶障害の有無により amnesic MCI と non-amnesic MCI に、そしてそれぞれを single domain か multiple domain かに分ける概念が取り入れられている(図1)。

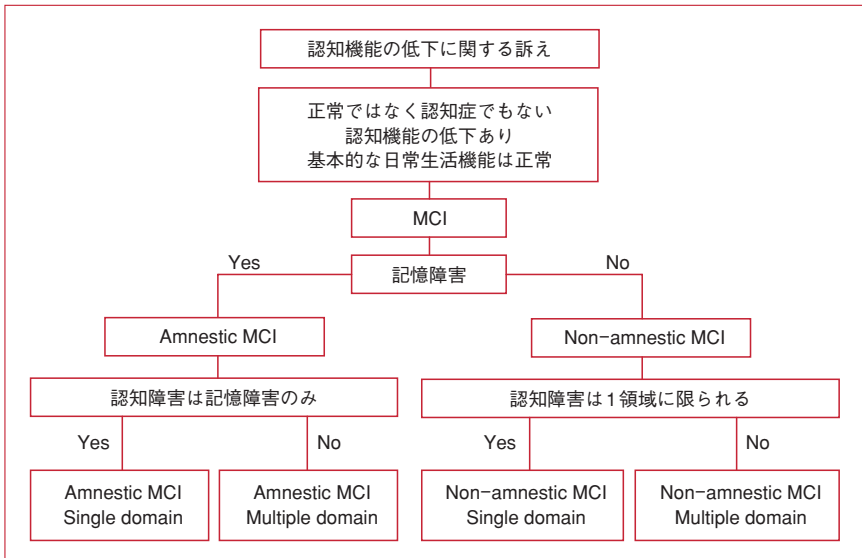


図1 MCI サブタイプ診断のためのフローチャート

診断に関わる未解決の問題として、①記憶等の認知機能をどのような評価尺度を用いて評価するのか、②どのような状態をもって正常と位置づけるのか、③対象は地域住民か、それとも専門クリニックの受診者か、といったことが指摘されている²⁾。

2011年にNational Institute on Aging and Alzheimer's Association workgroupより、MCIの中核群ともいべきPre-ADとしてのMCI(MCI due to Alzheimer's disease)を明確にするために、臨床症状としての日常臨床用の基準と、脳画像・脳脊髄液の所見といったバイオマーカーに立脚した専門医療用の基準の2つを設ける、との提案がなされた³⁾。バイオマーカー検査実施の有無とその結果により、Pre-ADという診断の確実性を4段階に分類する。

文献

- 1) Petersen RC, Smith GE, Waring SC, et al. Mild Cognitive Impairment; Clinical characterization and outcome. Arch Neurol, 1999; 56: 303-308.
- 2) Petersen RC. Mild cognitive impairment as a diagnostic entity. J Intern Med, 2004; 256: 183-194.
- 3) Albert MS, DeKosky ST, Dickson D, et al. The diagnosis of mild cognitive impairment due to Alzheimer's disease: Recommendations from the National Institute on Aging and Alzheimer's Association workgroup. Alzheimer Dement 2011; 7: 270-279.

『認知症疾患治療ガイドライン 2010』参照 CQ CQ 4B-1 (p. 188)